

- (1) 同志社女子大学を志望校・受験校と決めた理由。

私は初めに、「自分がこれから学んでいきたいこと」を中心に考えていきました。
同志社女子大学では高度な英語スキルを土台に異文化について学べる所にと魅力を感じたので決めました。

- (2) 一般入試対策としての受験勉強の進め方について。

〔1学期〕学校で毎月行われる小テストなどを利用し、勉強する癖をつけていきました。

1学期は、幅広く知識を増やすようにしていきました。特に日史の流れを頭にたたきこんでいきました。授業では復習が中心になっていきました。それと並行して授業内テストもあつたのですが、そのテストでもと細かく用語の漢字などを復習しておけばよかったと思いました。

〔夏休み〕夏休みを利用して、普段なかなか出来ない英語の長文を特にしました。

英語の長文で出てきた単語は別のノートに書いてなるべく覚えるようにしました。ただ、問題集などの時間配分を気にするあまり、実際に頭の中に語が入ってこないこともあつたので、長文は語の内容を大事にした方がいいと思います。私はこの時期から入試問題などを少しずつ解いていきました。せいかの長期休みは普段できない勉強もできる時期なので大いに利用してほしいです。

〔2学期～入試直前〕2学期からは、周りの友達も休み時間に勉強し始める頃です。

この時期からは、周りからいい刺激をもらえるし、焦りや不安も募ってきます。でもここで大切なのは自分と比べないことです。そして過去問の点数で一喜一憂しないことが大事だと思います。私はたとえば入試が近づいても新しい参考書は買わずに同じ問題集を繰り返し解いていました。英語は長文の中身や単語に、日史は流れそして細かい用語、過去問を復習し、国語は古文単語して現代文の評論の内容などに重点を置きました。入試直前は不安でしたが、「自分は頑張った」と自分で自分を励ました。

- (3) この一年間の受験生活において、受験勉強と高校の行事やクラブ活動の両立、健康面での注意、テレビやスマートフォン等との付き合い方、スランプとその対処法について。

私は前年の秋頃、正直勉強する気が一切起これませんでした。これはまさにスランプでした。周りの友達が勉強に本気を出しているのに自分は何もできませんでした。本身にふらつたので、スランプの時期に打って付けの薬はありませんが、私はとりあえず自分の手帳などに自分への励ましメッセージを書いたり自分自身の気持ちに寄り添いました。また入試直前は特に健康面は気をつけた方がいいです。勉強中に咳などが出ると集中できないし、変に周りの人々気にしすぎたりしてしまうからです。(自分の経験上)なので、睡眠を大切にしてください。

- (4) 受験を終えて、受験生のみなさんへのメッセージ。

受験と聞くと嫌だと思いがちですが、受験の時期だからといい面もあります。それは周りの人々がいかに自分を支えてくれているか、私、友達と励まし合ったり普段実感してないことが身にしてみえます。それをぜひ体験してください。そして思いつめずに「なんとかやる」と楽観的な部分も精神面で必要です。何事も、自分をあまり責めずに、大切に向き合ってくださいね。